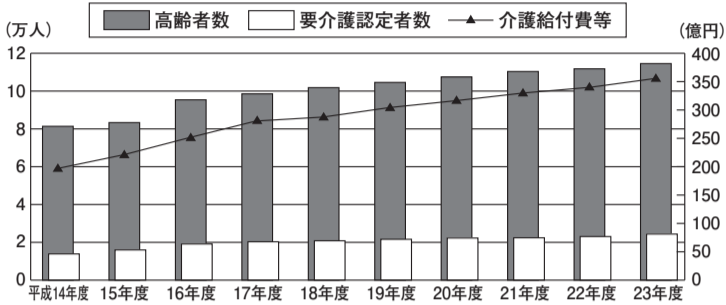


介護保険の大切な話

平成23年度 松山市の介護保険利用状況

介護保険制度は、40歳以上の皆さんに納めていただく保険料などによって運営しています。今回、平成23年度の松山市介護保険利用状況をお知らせします。

高齢者数・認定者数および介護給付費等の推移

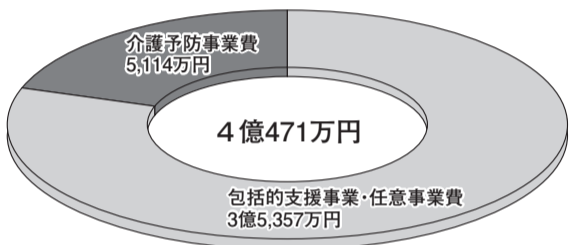


介護保険利用状況一覧

種別	平成23年度
人口※	513,460人
65歳以上の人口※	115,094人
認定者数※	24,289人
介護給付費	359億6,700万円
認定者1人当たりの介護給付費	約148万1,000円
地域支援事業費	4億471万円
高齢者1人当たりの地域支援事業費	約3,500円

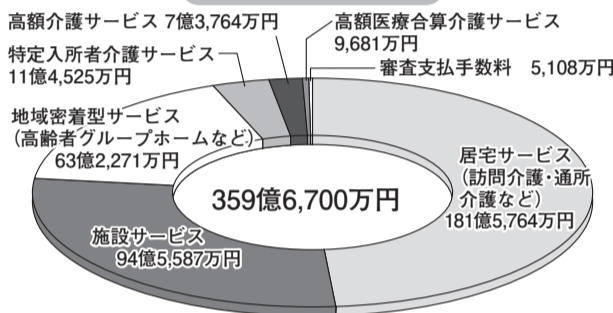
※は平成24年4月1日現在

地域支援事業費



地域支援事業費のうち地域包括支援センターの運営や高齢者の介護予防を目的とした「ふれあい・いきいきサロン事業」などを行う包括的支援事業・任意事業が3億5,357万円、生活機能の向上につながるサービスを提供する介護予防事業が5,114万円となっています。

介護給付費



介護給付費のうちヘルパーの訪問により、生活援助や身体介護を受ける「訪問介護」、施設などへ通い食事や入浴などの援助を受ける「通所介護(デイサービス)」などの居宅サービスが181億5,764万円。介護を受けるため施設へ入所する施設サービスが94億5,587万円、グループホームなどへ入居する地域密着型サービスが63億2,271万円となっています。

平成23年度介護保険事業の財源構成

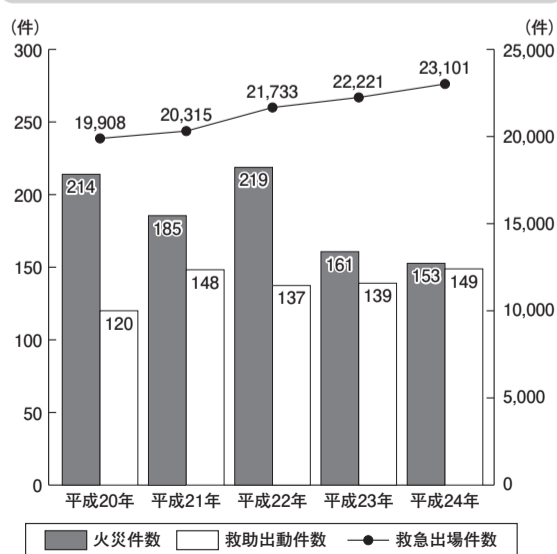
【地域支援事業費】

種別	負担金			保険料	
	国	県	市	40~64歳	65歳以上
包括的支援事業・任意事業費	40%	20%	20%		20%
介護予防事業費	25%	12.5%	12.5%	30%	

【介護給付費】

種別	負担金			保険料	
	国	県	市	40~64歳	65歳以上
居宅等給付費	25%	12.5%	12.5%	30%	20%
施設給付費	20%	17.5%			

本市の火災・救急・救助件数(各年1~12月)の推移



お問い合わせは、火災については消防課 ☎926 92477、救急・救助については消防課 ☎926 9222

お問い合わせは、介護保険課 ☎948 6840・FAX 934 0815

1 利用者の増加

本市の65歳以上の人口は平成23年度末に11万5094人となり、人口の4人に1人が65歳以上の高齢者です。介護サービスなどが必要な「認定者」数は2万4289人で、平成22年度と比べて約1000人増えています。高齢化が一層進み、介護サービスを利用する人が増えています。

2 費用の内訳と状況

平成23年度の介護給付費と地域支援事業費の内容は次のようになっています。

介護給付費 359億6700万円

要介護および要支援状態になった場合に、入浴・排せつ・食事などの介護が必要な人を支援するサービスの費用

地域支援事業費 4億471万円

介護状態になることの予防や要介護状態でも、可能な限り自立できるように支援するサービスの費用

3 大切な財源の介護保険料

介護保険事業の財源内訳は左表のとおりです。介護給付費に当たる介護サービスの費用負担は利用者が1割を負担し、残りの9割を左表のとおり負担します。納めていただく保険料が事業運営の大切な財源です。安定的な制度運営のため、期限内に納付をお願いします。

期限内に納付しないと

督促状が送付され手数料100円が加算されます。また滞納すると介護サービスの利用が制限されるほか、滞納が続くと差し押さえなどの対象になります。

火災件数153件

前年と比べると8件減少しています。約2・4日に1件の割合で火災が発生したことになります。

【出火原因】主な出火原因別にみると「放火」が30件(19.6%)、「こんろ」が22件(14.4%)、「放火の疑い」13件(8.5%)となり、「放火」と「放火の疑い」を合わせると、43件となっています。

【住宅火災による死者】住宅火災による死者は7人(前年比4人増)となっています。住宅火災による死者をなくすために、住宅用火災警報器の設置をお願いします。

救急出場2万3101件

前年と比べると880件増加しています。また搬送人員は2万1429人(前年比907人増)。これは、1日平均63・1件で、22分48秒に1回の割合で救急隊が出場し、市の

救助出動149件

前年と比べると10件増加しています。また事故種別で最も多いのは、その他の事故の76件でした。 ※統計の詳細は市ホームページをご覧ください

平成24年1~12月 火災・救急・救助の統計

民の24人に1人が救急隊によって搬送されたことになりました。▼救急出場件数は平成20年から連続して増加しています。緊急を要する人のために、救急車の適正な利用をお願いします

【事故種別】救急出場件数を事故種別ごとに見ると、「急病」1万4045件、「一般負傷」2998件、「交通事故」2943件となっており、この3種で全体の86・5%を占めます。【傷病程度別】傷病程度別にみると死亡、重症および中等症の傷病者は8345人(39.0%)で入院加療を必要としない軽症病者およびその他は1万3084人(61.0%)となっています。